

# 品質向上に向けた取り組み

品質保証は、お客様のニーズを適確に把握し、そのニーズに応える製品を安定的に供給できるプロセスを構築することであり、経営理念「信頼の経営」と直結しています。山陽特殊製鋼グループは、ISO9001：2015をベースとした品質マネジメントシステムを構築し、JISや海外規格など製品規格に要求される製品品質を満足させるため、営業部門、技術部門、生産部門、品質保証部門が一体となって品質を作りこむ品質管理活動を推進しています。また、製品品質の管理だけでなく、会社の仕組みである品質マネジメントシステムをグローバル化やお客様のニーズ変化などの環境変化に対応させ、かつ効率的な仕組みへと改善することにも重点を置き、持続的な成長を続ける企業を目指しています。

## 品質保証体制

品質保証部が中心となって品質保証体制の要である品質マネジメントシステムの維持・管理を行っています。製品の品質管理のプロセスは、営業部門がお客様のニーズを把握し、その要求事項を技術部門が工程設計に反映、その設計に従い生産部門が製品を作り込み、部門間で連携し展開しています。さらに品質保証にかかわる業務全般を独立した部門である品質保証部が担うことで牽制機能を働かせ、品質保証機能の適正化、強化を図り、より信頼性の高い製品の提供に努めています。定期開催している品質保証委員会では品質保証担当役員を委員長とし、年度の品質保証の基本方針および計画についての審議と「重要課題の計画的な改善」、「品質クレームの未然防止」、「顧客満足度向上」などの改善活動を実施しています。



## 品質保証の取り組み

ISO9001：2015の新たな要求事項である「リスク及び機会への取組み」への対応として、各組織にて業務のリスク評価を行っています。これにより認識した課題を基に、中長期的な視点でPDCA(Plan、Do、Check、Act)サイクルを回し、品質保証のレベルアップを図っています。具体的には、継続的な品質マニュアルの改訂をはじめ、品質パトロールの実施、組織相互間の内部品質監査による情報共有を進めることで、品質マネジメントシステムの向上に取り組んでいます。また全国品質月間である11月には、社員の品質に対する意識の高揚を図ることを目的として、品質講演会の開催や品質コンプライアンスに関するeラーニング実施などを通じて啓蒙活動を推進しています。

## お客様ニーズの把握と反映

お客様からQCDD(Quality、Cost、Delivery、Development)に関する当社の評価を年1回伺ってその結果を分析し、評価の低い項目を抽出し改善することで、お客様満足度のさらなる向上につなげています。また、お客様のニーズをタイムリーにとらえるため、お客様との技術交流会や国内外の展示会への出展を行っています。当社の開発製品、新技術などを紹介し、製品にかかわる詳細情報を提供するとともに、お客様の最新ニーズを収集し、製品の開発や改善に活かしています。



## 技能伝承の推進

技能伝承活動は、2015年度から組織的、計画的に取り組んでおり、伝承者と継承者のマンツーマン教育、教材作りの推進、モチベーション向上を目的とした表彰制度の運用などを一貫して継続しています。

2021年度からは、技能伝承活動の“2025年中期計画”をスタートさせており、生産部門のそれぞれの課長がビジョン(活動を通して実現したいと考える職場の姿)を掲げ、全社で総合的に「顧客からの大幅な増産要求や受注の極端な構成変化など、あらゆるニーズに応え得る強固な組織づくり」を目指しています。

中期計画の2年目となった今年度は、人員不足を職場全体で補填することによって設備を稼働させて生産停止を回避したり、突発的な生産要請にも柔軟に対応するなど、これまでの活動による人材育成の成果が各所に現れ始めた年となりました。

これからも技能伝承活動は、熟練ノウハウを後進に伝えることに重点を置きながら、多能工の更なる育成と技能向上、そして新人の早期育成などを目的とした幅広い人材育成活動として推進して行きます。



## TPM活動の推進

設備の故障やトラブルによるロス、ムダのゼロ化を追求し、設備の安定稼働や生産能力向上を目指し、生産部門全体でTPM活動に取り組んでいます。

活動では、一人ひとりの力量を向上させることで現場力向上をはかるため、設備や機器に関する基礎的な知識を教育する場「TPM道場」を設けて設備に強い人材を育成するとともに、設備トラブルゼロ、品質向上、安全向上、コスト削減などをテーマに作業区分ごとにサークルを結成し、改善活動を日々実施しています。年4回開催している活動成果を発表するTPM社内大会をより多くの関係者が聴講できるように、昨年度からWEB配信も行い開催しています。

また、今年度は、TPM道場内に新入社員の天井クレーン免許の早期取得、安全性向上、現場の業務負担軽減を目的に天井クレーンシミュレーターを導入し教育を行いTPM活動の活性化を図っています。



国内鉄鋼メーカーで初めて

## 風力発電 重要部品用鋼材のサプライヤーとして「TPG認証」を取得

TPG認証とは、輸送および発電関連の製品の製造に関して、鉄鋼製造・熱処理・非破壊試験などの認証分野ごとに規定されるTPG要求事項を満たしていることを証明する米国の認証制度です。すでに一部の風力発電機メーカーが、サプライヤーに対するTPG認証取得の義務付けを決定しています。

当社は、特殊鋼製造の量産工程において、最適なプロセスの開発および品質管理により、非金属含有物が極めて少ない高純度鋼の製造を実現しており、お客様が製造する各種部品の長寿命化などに貢献しています。このような高純度の高い特殊鋼を安定的に製造することのできる当社の信頼性の高い製造技術およびその品質管理体制について、鉄鋼製造分野のTPG要求事項を満たしていることが認められ、当社は国内鉄鋼メーカーとして初めてTPG認証を取得しました。

なお、当社は、高い生産性で特殊鋼を製造できる連続鋳造法に加えて、風力発電機の大型ベアリング等に使用される大径鋼材の製造が可能な造塊法についても認証を取得しており、双方の工程での認証は世界でも初めてとなります。

これにより、風力発電機のベアリングをはじめとする重要部品に、TPG認証が必要となる場合においても、素材として当社の特殊鋼材を使用することが可能となります。当社は引き続き、高純度の高い特殊鋼製品の開発・製造・提供を通じて、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献してまいります。



カーボンニュートラル社会の実現に向けた風力発電の導入拡大が見込まれています